

平成29年第2回燕市議会定例会  
一般質問日程表

| 質 問 日    |    | 質 問 者 |           |   | 質 問 方 式 |         |
|----------|----|-------|-----------|---|---------|---------|
|          |    |       |           |   | 一 括 質 問 | 一 問 一 答 |
| 6月15日(木) | 午前 | 1     | 山本 知克 議員  |   | ○       |         |
|          |    | 2     | 渡邊 雄三 議員  |   | ○       |         |
|          | 午後 | 3     | 中島 清一 議員  | ○ |         |         |
|          |    | 4     | 白井 丈雄 議員  | ○ |         |         |
|          |    | 5     | 小林 由明 議員  |   | ○       |         |
| 16日(金)   | 午前 | 6     | 堀 勝重 議員   |   | ○       |         |
|          |    | 7     | 丸山 吉朗 議員  | ○ |         |         |
|          | 午後 | 8     | 樋浦 恵美 議員  |   | ○       |         |
|          |    | 9     | 齋藤 信行 議員  | ○ |         |         |
|          |    | 10    | 柳川 隆 議員   |   | ○       |         |
| 19日(月)   | 午前 | 11    | 渡邊 広宣 議員  |   | ○       |         |
|          |    | 12    | 山崎 雅男 議員  |   | ○       |         |
|          | 午後 | 13    | 土田 昇 議員   |   | ○       |         |
|          |    | 14    | 山崎 光男 議員  |   | ○       |         |
|          |    | 15    | タナカ・キン 議員 |   | ○       |         |
| 20日(火)   | 午前 | 16    | 藤井 秀人 議員  |   | ○       |         |
|          |    | 17    | 大岩 勉 議員   |   | ○       |         |
|          | 午後 | 18    | 宮路 敏裕 議員  |   | ○       |         |
|          |    | 19    | 長井由喜雄 議員  |   | ○       |         |
|          |    | 20    | 吉田 勝利 議員  |   | ○       |         |

平成29年第2回燕市議会定例会「一般質問表」

| 発言の順序 | 発言する議員       | 質問項目(大項目)       | 質問要旨(中項目)                              | 具体的な内容(小項目)   |
|-------|--------------|-----------------|--|---|
| 1     | 山本知克(一問一答方式) | 1. 市民へのお知らせについて | (1)市の情報伝達の工夫について                       | <p>①市民向けに様々な事業展開を行っているが、広報やホームページでの紹介にとどまっていることも多く、折角の事業が市民や対象者に伝わっていないとの声も聞く。</p> <p>時代に則した周知のために、民間広告代理店のノウハウを活用し、いくつかの事業をピックアップして1～2年程度アドバイスを受けるなど、活用が検討できないか伺う。</p>   |
|       |              |                 | (2)広報・お知らせ版での二次元コードを用いた、インターネットの活用について | <p>①情報の伝達を考えると、年代や性別・生活スタイル等により求める情報も違う。広報も多くの市民により読まれているが紙面やレイアウトの関係で伝えきれていない部分もある。伝える情報の内容により、二次元コードの活用は考えられないか伺う。</p> <p>②スマートフォンの急速な拡大とともに、情報の伝達スタイルも変化している。年代にもよるがインターネットの活用により、約8割の人が日々情報検索をしているとのデータも出ている。従来の情報発信の幅を広げるためにも、より詳しい情報や案内をホームページのリンク上に置き活用できないか伺う。</p>  |
|       |              |                 | (3)フォトライブラリの提案でホームページ閲覧アップを            | <p>①催事や祭りなどで、広報の取材を見かけることも多いが、紙面の関係から2～3枚程度しか取材時の写真を見る機会がない。1カ月程度フォトライブラリとしてホームページに掲載できないか。併せて、催し物や祭りの楽しさを知って頂くためにも、市民の一言メッセージなども掲載し閲覧者の増加を図ってはどうか伺う。</p>   |
|       |              |                 | (4)情報公開について                            | <p>①広報では、予算の紹介や決算時に特集を組み掲載しているが、短い文章でわかりにくいとの声も聞く。税金を活用しての市政であり正確な情報を正しく伝えるためにも、新聞報道以外にも詳細な情報提供が必要と考える。予算での事業計画や、決算時の事業結果報告、資料などの「情報掲載」のリンクを張り市民へ公開してはどうか伺う。</p>  |
|       |              | 2. 観光振興について     | (1)観光協会について                            | <p>①観光協会の概要や人員配置、役割、会員数について現在配置されている2名の観光ナビゲーターの活動実績について伺う。</p> <p>②役割としてあげられている代表的な取り組みや、考え方について伺う。</p> <p>③新たな観光資源の開発と既存の観光資源の活用について、現在行われている活動状況と課題について伺う。</p>   |
|       |              |                 | (2)受け入れ体制の構築                           | <p>①⑦観光ナビゲーター⑧ボランティアガイドの育成や今後の活動について人材育成をふまえて考えを伺う。</p> <p>②観光動向について⑨入れ込み数やアンケート調査結果について、⑩結果をふまえた、観光資源の開発状況や課題を伺う。</p> <p>③情報発信について、⑪ポスター、パンフレットの制作や配布活動について実績、⑫今後の計画について⑬Webページ、SNSの活用状況や今後の方針について伺う。</p> <p>④Wing(燕三条駅観光物産センター)にて、休日も観光コンシェルジュが案内を行っているが、観光客から案内看板も無くわからなかったと聞くが、案内表示について市は改善策など助言をする考えがないか伺う。</p> <p>(次ページへ続く)</p> |

| 発言の順序 | 発言する議員           | 質問項目(大項目)                      | 質問要旨(中項目)                       | 具体的な内容(小項目)  |
|-------|------------------|--------------------------------|---------------------------------|--|
| 1     | 山本知克<br>(一問一答方式) | 2. 観光振興について                    | (3) 好感度アプリピーター増加策について           | <p>① スマートフォンの急速な拡大により、情報の伝達スタイルも変化している。年代にもよるがインターネットの活用により多くの方が、旅情報の検索をしている。四季の観光情報を網羅した、観光カレンダーの企画や情報アプリ開発は考えられないか伺う。</p> <p>② より詳しい情報や案内、位置情報をリンク上に置きグーグルやヤフーの地図をはじめとする地図上での検索を容易にできないか伺う。</p> <p>③ 紹介アプリを搭載した情報端末を市内施設に設置し、観光情報の共有を図る。観光客や市民向けにお手軽情報として、イベント開催時の案内や状況、お祭りの運行情報などのリアルな情報を配信し、盛り上げてはどうか伺う。</p> |
|       |                  | 3. 若年失業者とフリーター・ニート、ひきこもり対策について | (1) 若年失業者とフリーター・ニート、ひきこもり対策について | <p>① 近年、子ども・若者を取り巻く環境は「少子化、情報化、経済情勢」などの影響を受けて大きく様変わりしている。中でも、雇用形態の急激な変化による非正規労働者の増大、若年無業者(ニート)数の高止まり等は、若者が将来に対し不安を抱く大きな原因となっているが、当市における状況はどうか伺う。</p> <p>② フリーター・ニートと正社員との間では有配偶者率が大きく違う、有配偶者率の低下はそのまま少子化に拍車をかけることは明白であり、対策が求められているがどのようにとらえているのか考えを伺う。</p> <p>③ 学校不適応・ひきこもり相談状況について、他機関との連携や課題について伺う。</p>        |
| 2     | 渡邊雄三<br>(一問一答方式) | 1. マイナンバーカードについて               | (1) マイナンバーカードによる市民サービスの向上について   | <p>① 国も予算を含む支援体制を整備している今、早急にマイナンバーカードによる住民サービスの向上を目指すべきと考えるが、見解を伺う。</p> <p>② 県内の状況と今後の推移の予測をどのように考えるか伺う。</p> <p>③ コンビニ交付を導入することで、市民の利便性と行政のメリットについてどのように考えているか伺う。</p>  |
|       |                  | 2. 子育て支援について                   | (1) 就学援助について                    | <p>① 近年の要保護児童生徒数と準要保護児童生徒数の推移を伺う。</p> <p>② 文部科学省は「要保護児童生徒援助費補助金要綱」を平成29年3月31日付で改正することにより、支給対象者にこれまでの児童生徒から新たに就学予定者を加えた。これにより当該年度前、たとえば3月支給が可能になったが、市の現状と今後の対応について伺う。</p> <p>③ 準要保護児童生徒に対しての今後の市の対応策について伺う。</p>   |
|       |                  |                                | (2) 児童扶養手当について                  | <p>① 児童扶養手当を支給している世帯で、シングルマザー、シングルファザー別の世帯数と、受給対象児童数別の世帯割合の直近の数字を伺う。</p> <p>② ひとり親家庭の中には、パートやアルバイトなどの少ない収入で生計を立てている人も多い。普段からぎりぎりの生活をしていると、急な出費があったときに生活費が足らなくなって消費者ローンに手を出し、返済等でさらに生活に困窮する世帯が見受けられる。市としてそうした世帯に対しどのような対応策が考えられるか伺う。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>                              |

| 発言の順序 | 発言する議員                | 質問項目(大項目)                          | 質問要旨(中項目)              | 具体的な内容(小項目)   |
|-------|-----------------------|------------------------------------|------------------------|---|
| 2     | 渡邊 雄三<br>(一問一答方式)     | 3. 通学路の安全対策について                    | (1) 登下校における子どもの見守りについて | ①市内小学校区の通学路における登下校時の安全対策について、どのように対応されているのか伺う。<br>②登下校時に見守り隊のいない学校区は、子どもたちの安全確保のためにも見守り体制の確立が望ましいが、教育委員会としての考えを伺う。  |
| 3     | 中島 清一<br>(一括質問一括答弁方式) | 1. 市長の政治姿勢について                     | (1) ふれあいトーク 2017 について  | ①市長が直接地域に出向き、市民と語り合う「ふれあいトーク」が市内の6会場で開催される。今年はサンデートークと題して、6月4日の中央公民館が皮切りとして開催された。参加状況と質問や意見などどのようなものが寄せられたのか伺う。   |
|       |                       | 2. 「福服BOK」の取り組みについて                | (1) 回収状況について           | ①再使用可能な古着等を活用することで、ごみの減量化や資源の再使用を図る事業がスタートした。回収実績や市としての評価はどうか。  |
|       |                       | 3. 弾道ミサイル落下を想定した住民避難訓練について         | (1) 避難訓練の評価について        | ①6月12日に国外から弾道ミサイル落下を想定した避難訓練が実施された。訓練は国、県、燕市が主催し、燕市は防災行政無線で渡部地区の住民に退避を呼び掛けた。訓練の評価については課題を含めどのように考えているのか。  |
|       |                       | 4. 「つばめ東京オリンピック・パラリンピックプロジェクト」について | (1) 今後の活動方針について        | ①商工会議所や商工会など業界6団体とスクラムを組んで「つばめ東京オリンピック・パラリンピックプロジェクト」を立ち上げ、取り組みについて検討がなされてきた。今年度の活動方針や今後の取り組みについて伺う。  |
|       |                       | 5. 教職員の働き方と負担軽減策について               | (1) 本市における実態と対策について    | ①文部科学省は2016年度の教員勤務実態調査結果を公表した。中学校教諭の約6割、小学校教諭の約3割、小中学校の副校長・教頭の約6割が、おおむね月80時間超えが目安の「過労死ライン」を上回っていた。小中学校の教員の過酷な勤務の実態が浮き彫りとなった。本市における実態と対策について伺う。<br>②教員の長時間勤務の一因となっている部活動の負担軽減策として外部人材の支援がある。見附市では今春から中学部活動に外部顧問の派遣制度を始めた。関係者からは「教員の負担軽減とともに、生徒の技術向上にもつながりそうだ」と期待の声が上がっているという。こうした取り組みについてはどのように考えているか伺いたい。 |

| 発言の順序 | 発言者                   | 質問項目(大項目)       | 質問要旨(中項目)                      | 具体的な内容(小項目)  |
|-------|-----------------------|-----------------|--------------------------------|--|
| 4     | 白井 文雄<br>(一括質問一括答弁方式) | 1. 土木行政について     | (1) 橋梁の長寿命化について                | <p>①長寿命化の点検対象となる橋梁は何橋あるのか。過年度実施数と今年度実施数、今後の実施予定数。そして、橋梁点検の内容はどんなことを行うのか。</p> <p>②橋梁に添架している水道管やガス管などのインフラ管はどのような調査確認を行って維持作業等を行っているのか。</p> <p>③橋梁点検後の指摘事項は県に報告された後どう処置して行くのか。</p> <p>④橋梁の主体構造である鉄骨やコンクリートに腐食やクラックが見られるが、この対応についてはどのように指示がされるのか。</p> <p>⑤現在行っている点検での問題点は何が考えられるのか。</p> <p>⑥交通制限を行っての点検作業であるが、交通制限なしに点検作業を行うことはできないか。また、もっと市民に橋梁点検についてPRする必要はないか。</p> |
|       |                       | 2. 教育行政について     | (1) 次期学習指導要領における小学校での英語教科化について | <p>①授業数が増えることによる教職員や学校現場での疲弊対応について。</p> <p>②学びの質の転換に係る本市での取り組みはどうか。</p> <p>③英語指導教員の人材確保に問題は生じないか。</p>  |
|       |                       | 3. 水道行政について     | (1) 高度浄水処理について                 | <p>膜ろ過浄水処理に係る心配と思われることについて。</p> <p>①クリプト対応についての確認はどうとったのか。膜ろ過のデメリットは何が考えられるか。</p> <p>②ケーシング内のセラミック膜に付着するシブの処理方法と高濁度での対応はどうするのか。</p> <p>③機械設備の操作研修や維持管理はどう考えているのか。</p>  |
| 5     | 小林 由明<br>(一問一答方式)     | 1. 子育て環境の向上について | (1) 精神疾患を抱える親・保護者をもつ子どもを支えるために | <p>①精神疾患を抱える親、保護者をもつ子どもたちが置かれている状況や、そうした状況が招く子どもたちへの影響を、市はどのように考えているか。</p> <p>②精神疾患を持つ親、保護者が置かれている状況やその疾患について、その子どもたちが理解できる取り組みや相談者の設置などのケア、また、同じような境遇にある者同士の集いの場づくりなど、精神疾患を抱える親を持つ子どもたちに目を向けた積極的支援を実施すべきではないか。</p>  |
|       |                       |                 | (2) 一時保育の拡充について                | <p>①子どもたちの数が減少している傾向にありながらも、保護者等の声を聞く中では、保護者が置かれている様々な状況に対して、現在の一時保育のサービス量では十分ではない実態があると感じられる。現在のサービス提供量とその需要について市はどのように考えているか。</p> <p>②一時保育の拡充に取り組むべきではないか。</p>   |
|       |                       |                 | (3) 放課後等デイサービスの充実について          | <p>①放課後等デイサービスの利用者が年々増加し、必要なときにその利用ができないといったことが増えており、深刻な状況となりつつあるという声がある。市としても放課後等デイサービスの充実に取り組むこととしているが、その取り組み状況と、具体的な量や時期について伺いたい。</p>   |
|       |                       | 2. 各種統計等の活用について | (1) 燕市の姿の数値化について               | <p>①「新潟県100の指標」といったように、自治体の姿を数値化して、行政サービスやまちの特徴を明らかにしようとする取り組みが全国的に行われている。市民と行政とが、共にまちづくりに取り組む一つの指標とするためにも、燕市においてもその姿を数値化する取り組みを行ってはどうか。</p>   |

| 発言の順序 | 発言者                   | 質問項目(大項目)               | 質問要旨(中項目)                             | 具体的な内容(小項目)  |
|-------|-----------------------|-------------------------|---------------------------------------|--|
| 6     | 堀 勝重<br>(一問一答方式)      | 1. 防災危機管理について           | (1) 危機管理体制等について                       | <p>① 北朝鮮による弾道ミサイルの発射や、核実験実施の可能性が指摘されている中、県は4月25日に北朝鮮の弾道ミサイル発射に備え、県内市町村の担当者を集め住民避難訓練や今後の対応について対策会議を開催しております。また、弾道ミサイルの発射を想定し、6月12日に国の緊急情報ネットワークシステム「エムネット」を使用し、当市の渡部地区において避難訓練等の実施を予定しているところであります。</p> <p>今後、不測の事態を想定した市内全域にわたる対策・対応等について、市の考えを伺います。</p> <p>② 地震、台風、豪雨等の自然災害に対する、市の体制及び対策の現状と市民への対応等について伺います。</p> |
|       |                       | 2. 安心して産み育てられる子育て支援について | (1) 保育の充実について                         | <p>① 当市においては定住人口増戦略の下、基本方針の一つに「地域に根ざした教育の推進・子育て支援」施策として「安心して産み育てられる子育て支援」に積極的に取り組んでおられるところであります。</p> <p>現代社会において子どもを育てていくにあたり、保育園等ではなくてはならない存在になっており、ニーズに対応し現在は未満児保育の実施も行っているところでありますが、未満児保育の現状と入園希望時の対応等について伺います。</p>   |
|       |                       | 3. 青少年健全育成について          | (1) 幼児期からの一貫性のある教育について                | <p>① 平成27年12月議会において、中学校の部活動における休養日等の現状、部活動の果たす役割等について一般質問をいたしました。その後の取り組み等の現状と今後の取り組み等や考えを伺います。</p> <p>② 平成28年12月議会において、睡眠の重要性や睡眠と不登校の関係、眠育の必要性等についての一般質問をいたしました。その後の取り組み等の現状と今後の取り組み等や考えを伺います。</p> <p>③ 義務教育現場における学力・学習状況と今後更なる学力向上を図るための取り組み等や考えを伺います。</p>   |
| 7     | 丸山 吉朗<br>(一括質問一括答弁方式) | 1. 社会保障制度について           | (1) 2030年代の社会保障(介護、年金、国保、医療等)の考え方について | <p>① 2030年代、社会保障費が市の予算に占める割合は、今後ますます膨張していくものと考えられるが、この社会保障費の「膨張」に対し、対策を考えなくてはならない時期が必ずくると考えます。</p> <p>パンドラの箱をだれかが開けるか、覗くかしなければならぬ。その対策の一つとして、公助、共助、自助の現場に答えがあると思う。特に、自助が果たす役割が大きくなると考えられるがいかかがか。</p>   |
|       |                       | 2. 指定管理について             | (1) 指定管理が導入されて、10年くらいになるが、市民の反応について   | <p>① 指定管理が導入されて10年くらいになるが、いろいろな角度から検証されてみたか。良くなった点、問題点が発見されていると思うが、また、今後の課題についても市民から問題提起がなされているのではないか。</p> <p>② 集客を中心とする施設(道の駅国上、てまりの湯、交通公園)等、ある程度利益を求める指定管理と公民館、体育館等の目的が違う施設の指定管理では、同一の考え方と言う訳にはいかないのではないか。</p> <p>(次ページへ続く)</p>  |

| 発言の順序 | 発言する議員               | 質問項目(大項目)            | 質問要旨(中項目)                | 具体的な内容(小項目)  |
|-------|----------------------|----------------------|--------------------------|--|
| 7     | 丸山吉朗<br>(一括質問一括答弁方式) | 3. 働き方改革について         | (1) イクボス宣言及びインターバル制度について | <p>①管理職はイクボス宣言をされたわけであるが、管理職自身の考え方、行動に変化があるか。実績を上げるために、私共は、<math>Y = X^2 (A+B)</math> の公式に当てはめ、日頃行動しています。</p> <p>Y = 実績<br/>X<sup>2</sup> = 管理者<br/>A = 社員<br/>B = 会社環境 である。</p> <p>②インターバル制度を最近導入する会社が多くなってきたが、燕市でもイクボス宣言と同様に、市の働き方改革の中に考えてみてはどうか。</p>  |
| 8     | 樋浦恵美<br>(一問一答方式)     | 1. JR吉田駅のバリアフリー化について | (1) JR吉田駅のエレベーター設置について   | <p>①越後線と弥彦線が接続する拠点駅となっている吉田駅は、通勤や通学など多くの方が利用されています。2015年度の吉田駅の一日平均の乗車人員は、1,580人であるとの統計がでています。</p> <p>吉田駅を利用されている多くの方の利便性向上のためにも、エレベーター設置が必要であると考えますが、これまで市民、又は利用者の方から、エレベーター設置についての問い合わせや意見、要望はあったのかを把握されているのか伺う。</p> <p>②エレベーター設置について、今後は燕市としてどう対応されていくのか伺う。</p>  |
|       |                      | 2. 福祉の充実について         | (1) 難聴者への支援について          | <p>①加齢による聴力の低下は加齢性難聴と呼ばれ、高音域から聞こえにくくなり、音は聞こえてもことばの聞きとりが悪いのが特徴であるといわれています。</p> <p>これからは、難聴者に対する行政サービスも考えていくべき課題だと思います。他の自治体では、補聴支援を行う「磁気誘導システム・磁気ループ」というものを窓口対応用に使用しています。マイクを通して話した声を、補助受話器を耳にあてて聞くことができるものです。</p> <p>市役所の窓口に来られたときに、プライバシーに配慮しながら会話のやりとりがスムーズにできるよう、「磁気誘導システム・磁気ループ」の導入を提案したいと思うが、考えを伺う。</p> |
|       |                      |                      | (2) 育児と介護が重なる「ダブルケア」について | <p>①近年、育児をしながら親の介護を同時に抱える「ダブルケア」に直面する人が増えています。</p> <p>出産年齢の高齢化や、育児や介護を手伝ってくれる兄弟姉妹・親族の減少といった家族関係の変化など、ケアを担う人をどう支えていくかが課題となっています。</p> <p>燕市においても、育児と介護を支える仕組みづくりが必要ではないかと思うが、燕市における「ダブルケア」への現状と対応について伺う。</p> <p>②育児と介護を連携させた相談窓口の設置について伺う。</p>   |

| 発言の順序 | 発言する議員                | 質問項目(大項目)     | 質問要旨(中項目)                   | 具体的な内容(小項目)  |
|-------|-----------------------|---------------|-----------------------------|--|
| 9     | 齋藤 信行<br>(一括質問一括答弁方式) | 1. 教育について     | (1)教育委員会制度について              | ①平成27年4月から教育委員会制度が改正されたが、あらためて改正のポイントについて伺います。<br>②これまでの総合教育会議の議論について伺います。<br>③総合教育会議の設置による評価と課題について伺います。<br>④教育委員会制度の改正に伴う新教育長として今後の展望を伺います。  |
|       |                       |               | (2)学習指導要領の改訂についてかかる教育活動について | ①小学校は平成32年度、中学校では平成33年度から全面実施となる学習指導要領の改訂ポイントについて伺います。<br>②改訂のポイントを踏まえ、市教育委員会の対応について伺います。<br>③移行措置期間における学習内容の取り扱いについて伺うとともに、市教育委員会として重視することについて伺います。   |
|       |                       | 2. 市営公共交通について | (1)循環バス運行について               | ①循環バス「スワロー号」の休日運行について、利用状況の把握・分析はどうか伺います。<br>②今後はどうするのかお伺いします。また現状はどうか課題はあるのか伺います。   |
|       |                       |               | (2)おでかけきららん号について            | ①きららん号の予約については市民から予約がとれないとか、今すぐはダメとかいろいろお聞きするが、現状はどうか課題はあるのかお伺いします。  |
|       |                       | 3. 農政について     | (1)減反について                   | ①県の方では来年度の減反については、県で自主的な計画を立てて自治体に示すとあるが、市として減反にはどう取り組んで、農家に示すのかお伺いします。  |
|       |                       |               | (2)チャレンジ・ファーマーについて          | ①チャレンジ・ファーマーについては今年度は新しい取り組みに対して農家の対応または利用状況、反応はどうかお伺いします。<br>②減反も来年度から今の制度とは違うが、来年度からチャレンジ・ファーマーについてはどういう方向に持って行くのかお伺いします。  |
| 10    | 柳川 隆<br>(一問一答方式)      | 1. 産業振興行政について | (1)燕製金属酒器購入支援事業のPDCAについて    | ①700万円をかけたこの事業は、執行率は32%に終わった。一定の成果はあったと前回答えているが、そもそも、期間と金額についてどのような姿勢を持って臨まれたのか、といった点など、PDCAのPの部分が無いに等しいと思うが、どう考えているのか伺う。  |
|       |                       | 2. 市民生活行政について | (1)マイナンバー制度のこと              | ①報道によれば、自治体が企業に送付する個人住民税額通知書について、国が2017年度からマイナンバー制度の個人番号を記載する規則を定めたのに、記載見送りを決めた自治体が東京、名古屋、大阪に見られる。本市の方針を伺う。<br>②大阪府では3月時点で、府内43市町村の自治体で番号の全桁を記載する方向としたのは20。記載しない23の自治体の中の2、3の自治体にその理由を聞いてみたいかと思うが伺う。 |



| 発言の順序 | 発言する議員            | 質問項目(大項目)                               | 質問要旨(中項目)                 | 具体的な内容(小項目)  |
|-------|-------------------|---|---------------------------|--|
| 11    | 渡邊 広宣<br>(一問一答方式) | 1. 都市政策について                             | (1) 都市政策について              | ① D I Dの合併時と直近の面積と人口の増減推移、また、その期間に増えた住宅地(集落)数について。<br>② その地域でのランニングコストの増減について。<br>③ 住宅取得に対する支援の実績と今後の見通しおよび制度の継続について。<br>④ 以上から伺える今後の本市のあるべき都市政策(形成)を伺う。   |
|       |                   | 2. 産業政策について                             | (1) 産業政策について              | ① 市内企業の直近の採用実績、またU・Iターン数の実績について。<br>② 来春卒業予定者の採用見通しについて(採用予定数と学生の就職活動とその動向について)。<br>③ 直近5年の新規事業開業の業態別推移数について。<br>④ 市内企業の労働生産性と、労働力女性比率と賃金基準について。<br>⑤ 以上から伺える今後の本市のあるべき産業政策を伺う。  |
|       |                   | 3. 教育行政について                             | (1) 次期学習指導要領について          | ① 2018年度から始まる移行期間の対応について。<br>② それにより予想される教師、子どもの負担について。  |
|       |                   |   | (2) 教員勤務実態調査について          | ① 燕市の実態について(全国調査に対する認識について)。<br>② 以上から予想される点と対応について伺う  |
|       |                   |   | (3) 中学校における部活動について        | ① 合併時と現在の部活動数の推移について。<br>② 教育委員会(学校側)の部活動に対する考え方について。  |
| 12    | 山崎 雅男<br>(一問一答方式) | 1. 直接的効果と間接的効果の期待が持てる国道116号吉田バイパス整備について | (1) 国道116号吉田バイパス等道路整備について | ① 国道116号吉田バイパスが道路整備されることにより、慢性的な渋滞解消による時間短縮やコスト縮減が図られる。<br>通過車両等周辺道路の交通量が減少することにより交通事故の減少が期待でき、さらに災害時等のライフライン確保の直接的効果と環境改善や地域産業における流通の利便性が向上し、地域の発展・振興を支える感が否めない。間接的効果の期待が持てるが、国・県・燕市の三者による国道116号吉田バイパス早期事業化に向けての直近の動向と、燕市としての道路整備の基本的な考え方を伺う。<br>② 広域的な交流や連携の促進を図る国道116号・整備が見込まれている国道116号吉田バイパス・国道289号・国道289号燕北バイパスや主要地方道燕分水線等、広域幹線道路として地域連携軸にどのように位置付けられるのか所見を伺う。<br>③ 燕市吉田地区を縦断する国道116号は、燕市地場産業の物流を担う基幹道路に加え、緊急災害時における救援人員や、支援物資等の輸送運搬道路としての位置付けである。<br>国道116号吉田バイパス整備が片側1車線の両側2車線か、片側2車線の両側4車線にするかで動きが大きく変わる可能性を秘めているが、国・県に対して地元燕市としての見解を伺う。<br>また、道路構造の高低盛土及び交差点形状の平面・立体交差点に対しての進め方によっては将来の都市計画に影響しかねないが、燕市としての所見を伺う。 |

(次ページへ続く)

| 発言の順序 | 発言する議員            | 質問項目(大項目)                         | 質問要旨(中項目)   | 具体的な内容(小項目)   |
|-------|-------------------|-----------------------------------|---|---|
| 12    | 山崎 雅男<br>(一問一答方式) | 2. 重症心身障がい児を抱える親、家族の不安を解消することについて | (1) 重症心身障がい児、親、家族が地域で安心して生活できることについて(サークルつういんくる等) | <p>①今日の医療発達で周産期死亡率は低くなり、今後も医療ケアが必要な子どもは増加していくことが予測される。</p> <p>在宅で生活する重症心身障がい児のみならず、親、家族を支えていくには通所施設やショート施設を充足させることが肝要かと思われる。重症心身障がい児者と親、家族に対して、放課後等デイサービス、日中活動する施設についての見解を伺う。</p> <p>②重症心身障がい児の子どもは何種類もの病気を抱え、親、家族は毎日のように悩み苦しめ、子どもの将来に不安を抱きながら生活しているのが現状。</p> <p>在宅重症心身障がい児の親、家族は子どもと共に生活できる喜びを得る一方で、現実的には常に身体的疲労を強いられていると思われるが、養育者の疲労軽減に対しての所見を伺う。</p> <p>③緊急災害時での重症心身障がい児を速やかに避難させることは成長と共に容易なことではない。近隣・地元自治会・まちづくり協議会等の協力を必要とし、いわゆる共助がしっかりと取り組まれることにより、親、家族は安心して地域生活ができると思うが、各団体等の関わりについての見解を伺う。</p> |
|       |                   | 3. 学校不応・ひきこもり相談事業について             | (1) 限りない可能性を秘めたかけがえのない子ども・若者を支える社会について            | <p>①今年度より学校不登校相談とひきこもり相談が一本化して総合的な窓口の必要性から、学校不応ひきこもり相談事業がスタート。</p> <p>直近の小中学生の不登校相談と高校・成人のひきこもり相談件数、対応実績とスタートしたばかりであるが、一本化しての現相談状況と取り組み対応について伺う。</p> <p>②不登校・ひきこもりの状況が長期化すればするほど本人にとって、就学や就労ができにくくなり、自立と社会参加への機会が遠のき、家族は子の将来不安と共に孤立感を深め、精神的・経済的に負担が増し、社会活力の低下につながる感が否めないが、現状認識と本人、家族への対応について伺う。</p> <p>また、不登校・ひきこもり等の実態調査を行っての具体的な数値等を把握されて取り組まれているのか伺う。</p>  |
| 13    | 土田 昇<br>(一問一答方式)  | 1. 農業問題について                       | (1) 減反廃止に対して市の対応は                                 | <p>①1970年に始まった減反政策に対しては、大多数の農家は従ってきたが、いよいよ政府は2018年産のコメの生産数量目標を廃止し、戸別所得補償も廃止するとしている。燕市の農業にも大きな影響が出てくると思うがその点の基本的な認識について市長に伺う。</p> <p>②新聞報道によれば減反廃止後、県は2018年産米について国が従来示してきた生産数量目標に変わる「目安」を市町村に示す方針だが、戸別所得補償(10a当り7,500円)を廃止し、コシヒカリの増産に動く農家が増える可能性があると思うことから「目安」を設定する方針であると報道されているが、その「目安」の認識について伺う。</p> <p>(③以降、次ページへ続く)</p>  |

| 発言の順序 | 発言する議員           | 質問項目(大項目)               | 質問要旨(中項目)               | 具体的な内容(小項目)   |
|-------|------------------|-------------------------|-------------------------|---|
| 13    | 土田昇<br>(一問一答方式)  | 1. 農業問題について             | (1) 減反廃止に対して市の対応は       | <p>③市町村別の「目安」の提示は「実質的な生産調整の継続」であると見る向きもあり、農家方々からそれで価額の維持ができるのか不安の声が多く寄せられているが、その点の認識についても伺う。</p> <p>④従来の生産調整のように、数量の「目安」を農家単位まで細かく割り当てるかどうかは市町村の判断に任せる地域も多いと報道されているが、燕市としての対応について伺う。</p> <p>⑤集落営農は市内(3地区)で、法人組織(20法人)等々で、農地の集積、集約化の取り組みについてどのように考えているかその認識についても伺う。</p> <p>⑥戸別所得補償が今後復活するよう国に強く求めていくべきと思うが市長の答弁を求める。</p>   |
|       |                  | 2. マイナンバー制度について         | (1) 現在までにシステム改修でかかった金額は | <p>①市の業務で必要となる市民の個人情報はいくら持っていると思うが、どうしてもマイナンバーがないと仕事ができないことがあるのか伺う。</p> <p>②システム改修等々で多額の金額を支出してきたと思うが、現在までかかった費用と「地方公共団体情報システム機構」への負担金、手数料はどのような状況か伺う。</p> <p>③現在、燕市でマイナンバーカードの申請枚数は見込みより大幅に下回っていると思うが、現在の発行枚数と今後の見通しについて伺う。</p>  |
|       |                  | 3. 県立吉田病院の今後について        | (1) 検討会議の内容について         | ①県立吉田病院の今後「あるべき姿」について昨年8月から3回、議論したと報道された。その内容は吉田病院を、燕、弥彦地域住民に身近な医療を提供する地域密着型病院とし、本館棟が築43年を経過して耐震化も終わっていないので「早期の改築が望まれる」と報道されたが、それ以後の対応と今後の見通しについて伺う。  |
| 14    | 山崎光男<br>(一問一答方式) | 1. 燕市の商店街のさまざまな活性化策について | (1) まちゼミについて            | <p>①まちゼミは、「お客様」・「お店」・「まち」をつなぐ商店街の活性化事業として、全国的に広まっており、今や全国で250以上、新潟県でも10以上の地域で開催されている。現在、来月10日まで第3回吉田まちゼミが開催中であるが、受講者や参加店の反応や意見など、これまでの結果の検証について伺う。</p> <p>②まちに賑わいを取り戻し、まちを元気にする取り組みとして注目される、まちゼミを始める地域が、全国各地で増えている。今は吉田地区のみだが、今後燕地区宮町商店街、分水地区商店街を含めて、燕市全域でまちゼミが開催できないか伺う。</p> <p>③近年、まちゼミは多様化しており、小学生を対象にした子ども版のまちゼミ「まちゼミキッズ」や、仕事で日中参加できない人のための「ナイトまちゼミ」、他にも学校や図書館などとコラボしたまちゼミの新しい動きも見られる。これまでの検証を受けて、今後、他のまちゼミとの差別化を図り、お客様をまちへ呼び込み、商店街の更なる活性化につなげられないか、当局の考えを伺う。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p> |

| 発言の順序 | 発言する議員             | 質問項目(大項目)               | 質問要旨(中項目)                          | 具体的な内容(小項目)   |
|-------|--------------------|-------------------------|------------------------------------|---|
| 14    | 山崎光男<br>(一問一答方式)   | 1. 燕市の商店街のさまざまな活性化策について | (2) 「はばたく商店街30選」に選ばれた県内2市の取り組みについて | <p>① 昨年5月、経済産業省中小企業庁が選定する「はばたく商店街30選」に選ばれた加茂市五番町商店街は、長年「食」に特化したまちづくりを実施してきたことなどが評価された。</p> <p>商店街では商業環境の悪化やマンネリ化を打開するため、地元の保育園や大学・高校・中学校、加茂商工会議所ほかさまざまな団体と連携し、若者のアイデアを採用したことからイベントの内容が充実し、新規性が向上し、来街者の増加にもつながった。</p> <p>燕市にも食のイベントは数多いが、この加茂市の事例を参考にまちを盛り上げられないか、考えを伺う。</p> <p>② 今年3月、「はばたく商店街30選」に選ばれた小出商店街「魚沼職人大學」の取り組みが脚光を浴びている。</p> <p>商店街の若手経営者が、商店街をキャンパスに見立て、店主やスタッフが「教授」となり、商店街全体で専門知識や職人技を持つスペシャリスト集団を形成、「生徒」であるお客様や他店舗に伝える仕組みである。</p> <p>また、加盟店が店の展示に工夫を凝らしたり、他店舗の商品を置くなどして、加盟店同士で相乗効果を図り、商店街が繁盛店の集合体となることを目指した結果、売上・来客数ともに対前年比で大幅アップした。</p> <p>まちゼミにも応用できる、この魚沼市の取り組みを参考に、まちや商店街を活性化できないか、考えを伺う。</p> |
| 15    | タナカ・キン<br>(一問一答方式) | 1. 保育園の民営化について          | (1) 保護者の不安について                     | <p>① 6月4日(日)に開催された市長の「ふれあいトーク」の中で、保育園に子どもを通わせている保護者からの保育園民営化の質問に市長は、「基本的に保護者の不安をしっかりと取り除いてから整備するよう配慮していきたい。」と答弁している。不安の内容について具体的にどのようにとらえているかを伺う。</p> <p>② 保護者の不安解消のために市の改善すべき所を伺う。</p>   |
|       |                    |                         | (2) 子どもたちのデメリットについて                | <p>① 公立から私立になることで、保育士の多くが新しく入れ替わることになる。子どもたちにとって、また、園にとって全体の何割までが入れ替わる許容範囲と考えるか伺う。</p>  |
|       |                    |                         | (3) 審査採点について                       | <p>① どちらも応募してきたのが1事業者だけであったが、選定は行われている。応募者のプレゼンテーションが20分で質疑30分だったが、選定委員は委員長を含む9名である。質疑の時間が30分では短かすぎなかったか伺う。</p> <p>② 項目の中で、「公立保育園の理念、方針を理解し、積極的に継承する姿勢があるか」と「民間保育園ならではの、個性的な取り組みがあるか」では、矛盾してはいないか伺う。</p>  |

(次ページへ続く)

| 発言の順序 | 発言する議員             | 質問項目(大項目)        | 質問要旨(中項目)                         | 具体的な内容(小項目)  |
|-------|--------------------|------------------|-----------------------------------|--|
| 15    | タナカ・キン<br>(一問一答方式) | 2. 観光行政について      | (1) 道の駅「国上」について                   | <p>①市長は4月1日のグランドオープン式典で「ゴールデンルートの中核施設として、金属製品を含めた情報発信、燕市の誇る観光の拠点としての力が発揮され、交流人口が拡大することに寄与する施設に…」と、あいさつされた。</p> <p>施設が整備され充実することは結構なことであるが、お金を稼げる施設にしていくことが大事である。その観点から施設内を見ると、物販スペースにおける棚のレイアウトを始めとして、見せ方の工夫や演出が不足しているように感じた。参考にされた他の施設があれば伺う。</p> <p>②地域のお土産品が少ないが開発が必要ではないか伺う。</p> |
|       |                    |                  | (2) 良寛史料館について                     | <p>①今年で築38年だが、施設の老朽化が進む中、史料館として存続させるのか伺う。</p> <p>②存続する方向なら、施設の整備について考えていく必要がある。中でもトイレの洋式化や多目的トイレの設置は不可欠であるが伺う。</p> <p>③平成25年3月議会で良寛史料館に関して私の質問に、担当部長は「企画展の案内方法や展示の仕方等についても改善の余地がある…」と答弁している。しかし、現在のチラシ等を見るかぎり改善されてきたとは思えないが、どうなっているのか伺う。</p>   |
| 16    | 藤井秀人<br>(一問一答方式)   | 1. 市長の政治姿勢について   | (1) 市長の政治姿勢について                   | ①市長は来年の4月で任期を迎えられるが、政策の評価をどのように考えられているのか、伺いたい。   |
|       |                    | 2. 職員に対する考え方について | (1) 働き方改革が叫ばれているが、対応はどのようにされているのか | <p>①職員数の内訳と、適正人員の判断基準、合併後の人員の推移をお聞かせいただきたい。</p> <p>②国が定めている1カ月の残業時間を超えている職員はいるのか。いるのであればどれくらいの数があるのか伺いたい。</p> <p>③定年退職後の再就職の状況について、平成27年から平成29年までの3年間の退職者の動向をお聞かせいただきたい。</p> <p>④市内に再就職先として考えられる場所はどのようなところで、どれくらいの場所があるのか伺いたい。</p> <p>⑤具体的な働き方改革は考えられているのか伺いたい。</p>                 |
| 17    | 大岩勉<br>(一問一答方式)    | 1. 市長の政治姿勢について   | (1) 東京つばめいと事業について                 | <p>①燕市と首都圏の若者をつなぐ事業として平成28年3月に実施されたが、1年経過後の成果と燕市としての今後の対応を伺う。</p> <p>②首都圏からのUターンを促進するための開催と思いますが、参加された市内企業からはどのような感触結果が報告されているのか伺う。</p> <p>③市内で就職活動を行うU・Iターン学生への交通費及び宿泊費の補助などはされているのか伺う。</p>   |
|       |                    |                  | (2) 短期インターンシップについて                | <p>①参加の学生・社会人は何名程度で、実際の成果と受け入れ側の企業からは、どのような報告内容がなされているのか伺う。</p> <p>②新潟県もU・Iターン事業の促進に力を入れているが、「にいがたUターン情報センター」との連携はされているのか伺う。</p>   |

(次ページへ続く)

| 発言の順序 | 発言する議員           | 質問項目(大項目)      | 質問要旨(中項目)                            | 具体的な内容(小項目)   |
|-------|------------------|----------------|--------------------------------------|---|
| 17    | 大岩勉<br>(一問一答方式)  | 2. 燕マラソン大会について | (1) 主催者のコンセプトについて                    | <p>① 4月29日、第28回大会が開催されましたが、以前の元旦マラソンと相も変わらないマンネリ化した大会を、観光と町おこしイベントとして活性化できないのか。611人の参加者数を主催燕市としては、どのようにとらえているのか見解を伺う。</p> <p>② 開会式前にイベント開催などを行い、多くの他団体から協力参加していただき、盛り上げたらどうか見解を伺う。</p>  |
|       |                  |                | (2) 地域のチカラを結集した大会運営について              | <p>① 地域住民と協力し、運営はそれぞれの団体・町内会を中心とし、参加選手・ボランティア全員が楽しめる、観光と町おこし市民一体となり参加者との交流のストーリーが育まれる大会として取り組んだらどうか見解を伺う。</p> <p>② コスプレランナーも増えています。部門入賞者賞ばかりでなくユニークな特別賞やレース種目も計画されたらどうか見解を伺う。</p> <p>③ 交流人口・観光人口を目的として、市外県外者の参加者増を目的として、他行事と連携・協力できないものかどうか見解を伺う。</p>   |
| 18    | 宮路敏裕<br>(一問一答方式) | 1. 生活保護行政について  | (1) 基本的認識について                        | <p>① 本年1月、神奈川県小田原市で生活保護担当職員が、「保護なめんな」などの文字がプリントされたジャンパーを着用し、生活保護利用者宅へ訪問する職務を行っていたことが発覚した。人権侵害にあたる許されない行為として、市は誤りを認め、問題を重くみて、検証作業を行ってきた。現在、改善に向けた一歩を踏み出し、憲法25条に規定された生存権を尊重し、人権侵害を防止していく体制の構築を進めているとされている。</p> <p>本市として、この事件を通じ、問題の本質や改善へ向けての取り組みなど、学び、生かすことがあると思うが、市長に認識を伺う。</p> <p>② 生活保護行政に携わる関係部局として、同事件から学び、生かしていくことなど、この間議論をされてきたか伺う。</p>   |
|       |                  |                | (2) 本市における生活保護行政の現状認識と改善に向けた取り組みについて | <p>① 現在の生活保護利用世帯数と平成28年度及び平成29年現在の申請数、そのうち、母子世帯の申請数と保護決定数を伺う。</p> <p>② 利用世帯への現況確認のための訪問を行う職員体制について、配置人数を男女別に、職員一人あたりの担当世帯数を伺う。</p> <p>③ 民生委員の協力について、担当職員との役割分担と民生委員を通じて生活困窮者を援護係窓口につなぐ事例はあるか伺う。</p> <p>④ 利用世帯で、高校生が修学旅行費用などを目的にアルバイトをした収入について、収入認定の除外(控除)している事例はあるか伺う。</p> <p>⑤ 「生活に困ったら誰でも生活保護制度を利用できる」という憲法で保障された権利であることを市民に認知してもらうために、市のホームページ上の生活保護制度の説明欄に、「憲法25条の規定に基づく制度である」ということを明記することも重要ではないかと思うが伺う。</p> |

| 発言の順序 | 発言する議員        | 質問項目(大項目)                   | 質問要旨(中項目)                     | 具体的な内容(小項目)   |
|-------|---------------|-----------------------------|-------------------------------|---|
| 19    | 長井由喜雄(一問一答方式) | 1. 燕市の非核平和への姿勢について          | (1) 非核首長会議に参加する燕市としての取り組みについて | <p>①国連での核兵器禁止条約草案が発表され、6月の国連会議を経て10月にも採択される見通しとなっている。燕市は鈴木市長となってから「非核首長会議」に加盟している。この非核首長会議では昨年11月に、同じく10月に開かれた国連総会第一委員会で決議された総括文書と核兵器禁止条約の早期実現を目指す要請文を採択している。市長はこれに賛同するか伺う。</p> <p>②昨年「ヒロシマ・ナガサキの被爆者の訴える国際署名」に市長は署名されているが、非核平和都市宣言を行った燕市として、ホームページや広報などを通じて市民にも協力を呼びかけるなど、積極的な姿勢を示してはいかがか。</p>  |
|       |               |                             | (2) 非核平和事業のさらなる推進について         | <p>①非核平和の願いは世界に広がり、燕市でも「非核平和都市宣言」を行って、この願いを対外的にもアピールしている。市は非核平和事業として被爆アオギリ・被爆クスノキを植樹しているが、これは県内自治体では燕市だけであり大きく評価できる取り組みだ。しかしながらアオギリは植樹以来その成長は芳しくなく、成長不全と言わざるを得ない状態ではないか。対策が必要と思うかがか。またクスノキも燕市舎脇に植樹されているが、移植も必要と思う。市民にアピールするにふさわしい場所を選定してほしいかがか。</p> <p>②宣言後初の事業は、市民代表として各校から選ばれた中学生5人の代表派遣だった。派遣人数について、これまでに議会からも増員を求める声が増えつつある。長岡市では各校代表の中学生のほか、平和をテーマとした作文、ポスター、標語で優秀作となった生徒を合わせて、25名規模で派遣している。現在の形態で男女2名を各校代表とするなど、派遣者の拡大を提起するが、考えを伺う。</p> <p>③これらと合わせ、日本非核宣言自治体協議会への参加や、燕市として平和記念行事に取り組んではいかがか伺う。</p> |
|       |               | 2. 介護保険の新総合事業と法改定による負担増について | (1) 4月から開始となった新総合事業について       | <p>①要支援1・2の方々を対象に予防給付の訪問介護予防と通所介護予防が新総合事業に移行され、燕市では①現行相当サービス、②基準緩和サービスA、③住民主体サービスBに変更された。移行当初は「現行サービス」となるが、認定更新時からサービスが変わることになる。それぞれのサービスについて、参加事業者の状況はどうか。5月末における対象者数とともに包括支援センターなどから寄せられる声についても伺う。</p> <p>最大の問題は基準緩和サービスAが専門性を問わない無資格者を活用していることだ。燕市ではどのような状態となるか。またこれに関わる専門性を持った現在の事業従事者の賃金、待遇などはどうなるのか。燕市では単価を8割に設定とされるが、労働条件の後退の懸念に市はどのように責任をもつのか伺う。</p> <p style="text-align: right;">(②以降、次ページへ続く)</p>  |

| 発言の順序 | 発言する議員             | 質問項目(大項目)                            | 質問要旨(中項目)                          | 具体的な内容(小項目)   |
|-------|--------------------|--------------------------------------|------------------------------------|---|
| 19    | 長井 由喜雄<br>(一問一答方式) | 2. 介護保険の新総合事業と法改定による負担増について          | (1) 4月から開始となった新総合事業について            | <p>②介護認定者の推移からも「要支援」の方は毎年3%増で、平成28年度では826人、認定者の19.1%となっている。更新、及び新規の認定申請に際し、窓口担当は専門職を置いているか。市が示した資料では、「チェックリストにより判定を受けた人は、要支援認定の手続きを省略してサービスを利用することができる」としている。総合事業へ誘導し、介護保険サービスを使わせない方向に誘導するのか伺う。</p> <p>③燕市のケアプランの中身について、どのような基本姿勢で臨むのか。短期間で総合事業から「卒業」させるという考えか。</p> <p>④総合事業の上限については平成28年度の介護予防訪問介護と介護予防通所介護、それに介護予防支援、介護予防事業の総額をベースとし、伸び率は「75才高齢者数の伸び以下」の増加しか認めないとされる。計算式から、燕市ではどうなるか。初年度は「10%特例」があるが、この先どう予想するか伺う。</p> |
|       |                    |                                      | (2) 負担増と介護利用について                   | <p>①「21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会」が行ったアンケート結果の速報が公表された。2015年の介護保険制度改正により、年金収入280万円以上の人の自己負担額が2割に引き上げられたことによる負担増が原因と思われる退所者など、影響は6割の施設で確認された。燕市では保険者としてこの改定による退所は確認しているか。</p> <p>政府はさらに、野党の反対を押し切って2018年8月から単身年金収入で344万円、夫婦で463万円以上を3割にする法改定を行った。同じく2号被保険者の「総報酬割」負担増も深刻だ。これらの負担増について保険者としての考えを伺う。</p>   |
|       |                    | 3. 性的マイノリティー(LGBT)への理解促進と行政の取り組みについて | (1) LGBTに対する現状での理解と、今後の市としての対応について | <p>①性的マイノリティー(LGBT)とともに性的指向をさすセクシャル・オリエンテーションと性自認をさすジェンダー・アイデンティティーの頭文字をとったSOGI(ソギまたはソジ)という用語も使われるようになってきている。市の現状での認識と、市民から寄せられる相談などの現状と対応について伺う。</p> <p>②2015年に「同性パートナーシップ条例」を制定した渋谷区、同性カップルである区民が自由な意志によるパートナーシップの宣誓を区長に対して行い、宣誓書を受け取るという世田谷区をはじめ、相談窓口の設置をホームページなどで知らせている東村山市や大阪の藤井寺市、そして東北では青森市など、自治体としてもLGBTに真剣に向き合いながら取り組みを始めた自治体が生まれている。燕市では現在の仕事の中でどのような市民サービスがLGBTに関係するか。また、LGBTに対応した施策の展開についてどのように考えているか伺う。</p>  |
|       |                    |                                      | (2) 小中学校でのLGBTの現状と対応について           | <p>①文科省が「性同一障害や性的指向・性自認に係る、児童生徒に対するきめ細やかな対応等の実施について」という教職員向けのテキストを出している。燕市においてはどのような現状にあり、対応はどうであるのか。また課題とすることは何か伺う。</p>  |



| 発言<br>の<br>順序 | 発<br>言<br>す<br>る<br>議<br>員 | 質<br>問<br>項<br>目<br>(大項目)                            | 質<br>問<br>要<br>旨<br>(中項目)                            | 具<br>体<br>的<br>な<br>内<br>容<br>(小項目)                         |
|---------------|----------------------------|--|--|---|
| 20            | 吉田<br>勝利<br>(一問一<br>答方式)   | 1. 図書館に<br>おける蔵<br>書の管理<br>について                      | (1)蔵書のペ<br>ージの部分<br>の切り取<br>られ事故<br>について             | ①燕市内の図書館や学校等公的施設の蔵書について、その管理上掲載部分の切り取られたような事故は今までなかったのかどうか。 |
|               |                            | 2. 市内小関<br>の事業所<br>敷地内<br>における<br>有害物質<br>検出につ<br>いて | (1)市内工業<br>団地等に<br>おける有<br>害物質に<br>関する調<br>査につい<br>て | ①市内の工業団地や工場跡地等に、有害物質が検出される所があるのかどうかの調査は、現在行なっているのかどうか。      |